

(4月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
いちご類		4,680	103	5,630	797	101	757	-	-	栃木、福岡、佐賀中心の入荷となる。栃木産は入荷が停滞しており、入荷が回復するのは中旬以降となる見込み。福岡産は作柄順調で中心サイズは2L。佐賀産も谷間なく、安定した入荷が見込まれる。全体の入荷量はやや前年を上回り、価格は前年並みとなる見込み。
すいか類		2,284	102	2,190	282	100	295	-	-	熊本、茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。熊本、茨城産ともは作付面積が減少傾向であるが、首都圏への出荷割合を増やしており、入荷量は前年並みとなる見込み。価格も消費も堅調と見込まれるが、前年並みとなる見込み。
メロン類		1,866	98	1,993	598	97	590	1	-	静岡、熊本、宮崎産のアールスメロンに加え、熊本、茨城産の露地メロンが入荷する。メロン全般に作付面積は減少傾向にあり、2月の低温の影響などから入荷ペースも遅れ気味となっている。全体の入荷量は前年を下回り、価格も果実全体の軟調傾向もあり、前年を下回る見込み。
ぶどう		57	70	104	1,343	106	948	-	-	山梨産中心の入荷となる。品種はデラウェア。山梨産の入荷時期は前年より早いものの原油高騰の影響から入荷量は前年に比べ大幅に減少する見込み。価格は入荷減を反映し前年を上回る見込み。
みかん類		73	100	323	1,262	100	603	-	-	大分、愛知を中心にハウスみかんの入荷が始まる。大分産は重油高の影響により作付けが減少しているが、4月については前年並みの入荷となる見込み。愛知産は原油高により早期出荷者が減少し、4月の入荷は1割減なる見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を下回る見込み。
びわ		89	120	95	1,983	97	1,908	-	-	長崎産中心の入荷で全体の8割を占める。原油高対策による加温抑制と寒さが影響し、生育は10日程遅れている。入荷量は4月後半から増加し、4月の入荷量は前年を大きく上回る見込み。価格は入荷量が増える後半から下がり、前年を下回る見込み。